

2010
6
June

弘前大学

学園だより

題字：遠藤正彦 学長

VOL.167



「三本の瓶」制作 教育学研究科院生 藤井花恵

I 巻頭言	————	2
弘前大学長 遠藤正彦		
II 特集 各学部長挨拶	————	4
人文学部長	4	
教育学部長	5	
医学部長	6	
医学部保健学科長	7	
理工学部長	8	
農学生命科学部長	9	
特集 「新入生・在校生の声」		
人文学部	10	
教育学部	12	
医学部医学科	14	
医学部保健学科	16	
理工学部・理工学研究科	18	
農学生命科学部	20	
III 弘前大学漫学のススメ	————	22
人文学部	22	
教育学部	23	
医学研究科	24	
保健学研究科	25	
理工学研究科	26	
農学生命科学部	27	
IV 新任教員自己紹介	————	28
V けいじばんコーナー	————	29
VI 編集後記	————	30

特集

新学期を迎えて



I 巻頭言

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。講義も始まりました。大学生活が順調にすべり出していると思います。これからの学びが自分の将来を決定づけます。目標を明確にして努力しましょう。私達も応援しています。

大学に入学しての本学の印象はどんなですか。オープンキャンパスの時の印象と異なっていることがありますか。ここが、これからの皆さんの学舎です。

■他大学学長は驚きました

ところで一昨年、(財)国立大学協会総会、いわゆる全国の国立大学学長会議

こと。「仕事柄、全国の国立大学を訪問していますが、失礼ながら以前の弘前大学はお世辞にもきれいとは言えませんでした。正門を入るとすぐに乱雑に放置された自転車、自転車、自転車。構内至るところに雑木が生い茂り、自家用車が植え込みまで進入して駐車していました。立て看板は至るところに。久しぶりに弘前大学を訪問して驚きました。昔のイメージが一掃され、狭いながらも実に整備されています。しかも、授業の時間帯でありましょうか、それにしても、構内をフラフラ歩いている学生がひとりもおりません。弘前大学は実に変わりましたね。」と驚いていました。学長には嬉しい言葉として耳に残っています。

の教員の努力、そして何よりも本学学生の皆さんが将来に対して明確な目標を持ち、就職に対する高いモチベーションを持ち続けていることにあると思われます。

もう一歩踏み込んで言うと、社会が本学の学生の皆さんは質が高いと受け取ってくれているからだと思います。新入生の皆さんも、本学の先輩の皆さんに学ぶものが多いと思います。

■弘前大学フィルハーモニー管弦楽団の演奏に文部科学事務次官と東京藝術大学学長は驚きました

昨年の創立60周年の記念式典での、弘前大学フィルハーモニー管弦楽

弘前大学の学生の動きに学外の方々が驚きました。

が、この弘前市で開催されました。その時、本学を見学に来た他大学の学長の多くは驚きました。何に驚いたかわかりますか。

それは、本学の正門に入って見て、一台の自転車もなかったことです。そして、学生会館の前まで一台も自転車がなかったことです。一体、自転車はどこにいったんだろうと。

他大学の多くは、それぞれの大学構内の乱雑に放置された自転車に困っています。本学は、学生の皆さんが本学のルールをきちんと守って、学内が整理されているように見えたのです。事実そうです。私はこうした本学の学生の皆さんを誇りに思っています。

■元テレビプロデューサーも驚きました

テレビ報道機関で永く科学番組を担当している元プロデューサーの訪問を受けました。久しぶりの本学訪問との

■不況下の本学の高就職率にまわりの方は驚きました

この3月末、ある会議で、この不況下における大学生の就職の低迷が、憂慮を持って語られていた時、本学の就職率が91.7%（3月1日現在）と全国平均を大幅に上まわっていることが、私から紹介されると皆驚きました。弘前大学だけがどうしてと。

弘前大学は、ここ数年、本学卒業生の高就職率が続いています。平成19年、統計のない医学部を除いて、全国の国公私立大学の学部ごとのランキングにおいて、人文学部全国第6位、教育学部同5位、理工学部は理学部の整理の中で第3位、そして農学生命科学部は農学部の整理の中で第7位と、すべてが全国ベストテン内でした。翌20年度もそれに近い状況でした。

この高就職率の主な原因は、本学の就職支援センターを中心とした各学部

団の演奏を聴かれた文部科学省銭谷眞美事務次官は、後に、文部科学省と(財)国立大学協会会員、即ち学長との懇談会の席上、この弘前大学フィルハーモニー管弦楽団の演奏は実にすばらしいと参加者に紹介され、本学のオーケストラが一躍有名になりました。

後日、同じ創立60周年記念事業に出席していた東京藝術大学宮田亮平学長が「この方の作品が、コラボ弘大1階エントランスホールに展示されている創立60周年記念モニュメント“幸せのリング”ですー文部科学省幹部と国立大学協会理事との予算についての協議の場で、弘前大学オーケストラをほめながら、大学オーケストラ等の大学文化へもっと国は力を注ぐべきであると発言し、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団は更に有名になりました。宮田学長は、地方の大学オーケストラがこれ程までにレベルが高いのかと驚いていました。



弘前大学長
遠藤正彦

アメリカの良い大学のステータスと言われるものは、学生の活躍する大学独自の出版会、オーケストラとそしてアメフト(アメリカンフットボール)と言われます。皆さん、本学にはすべて揃っているではありませんか。

アメフトは、ルール改正があったので、地方の大学のチームにも優勝のチャンスが巡ってきました。アメフト、がんばって下さい。

■ 創立60周年記念事業学生参加の学生のパワーに驚きました

弘前大学は、昨年創立60周年を迎え、6月6日記念式典が行われました。全国の国立大学86のうち40数大学が創立60周年を迎え、それぞれ記念式典等の行事・事業を行いました。その中で最も弘前大学が華やかであったと言われています。その理由の一つは、“学生参加”にあったと思われま

す。一年を通して学生の様々な活動が、創立60周年記念事業の一環として位置づけられて実施されました。そのため、学生の皆さんが特に盛り上がったものと思われま

す。その学生の参加したすべての事業の様子を撮影した「新たな明日へ 弘前大学創立60周年記念学生参加事業写

真集」が、本学の出版会から出版されました。撮影から編集まで、すべて学生の手になるものです。

この写真集の本学学生のエネルギーの様を見た方は、皆さん驚きました。弘前大学の学生力に。

また、本学附属図書館が、毎年学生から応募のあった小説・評論等の中から選ばれた優秀作品に“言語力賞”が与えられていますが、これらを集大成した『幻灯夢』が、創立60周年記念事業の一環として出版されました。この中から、あるいはこれに続く作品の中から、太宰治に続くか、または芥川賞等の受賞作家の生まれることを期待します。

■ 大学を囲む地域の方々が本学学生に驚きました

本学では平成22年2月22日に平成21年度の学生表彰を行いました。10年前、この学生表彰制度が始まった時、合わせて10にも満たない個人・団体の表彰に留まりました。しかし21年度は、団体として体育系課外活動7、及び文化系課外活動7、個人として研究活動13、社会活動1、体育系課外活動13の計41個人・団体が表彰されました。この多さに驚きます。

この特徴は、体育系は個人・団体共、全国的レベルの大会での優勝・入賞であり、文化系は全国レベルのコンテスト上位入賞や、地域の企業・自治体・個人等の調査活動やボランティア活動が地域から高く評価されての表彰です。

学生の研究が学会賞を受けたり、国際誌に掲載されることが大幅に増加しました。本学の研究レベルが高まっていることを示しています。

これらの表彰以外にも、弘前大学の“ネットバトロール隊”の学校裏サイト監視等は、教育界、小・中・高生を持つ親達より絶賛されておりま

す。こうした本学の学生の動きは、国立大学法人化前にはほとんど感じられませんでした。しかし、今では、大学を囲む地域の方々が弘前大学学生の動きに注目しています。そして驚きました。

さあ、新入生の皆さんも、このような本学の先輩達と交わって有意義な学生生活を過ごしてはいかがでしょうか。これは、皆さんの人格形成にプラスになっていることに、将来必ず気がつきます。

すばらしい大学生活を祈ります。



人文学部長
石堂 哲也

諸君の先輩たちに 私がおそわったこと

弘前大学人文学部へようこそ。心から歓迎いたします。

キャンパスには新入生の元気な姿があふれ、春はうれしい出逢いの季節です。しかし、それはまた別れの時でもあります。皆さんが入学してくるのと入れ替わるように、今年も多くの学生が卒業していきました。

私はこれまでに多くの個性豊かな弘大生の青春と彼等のその後の人生をみてきました。そのなかの三人のエピソードをここに紹介します。皆さんの学生生活とこれからの生き方のヒントになるかもしれません。

この3月に卒業したAさんは入学後、迷わず弘前大学フィルハーモニー・オーケストラに入団し、全くの初心者だったのですが、ヴァイオリンを弾きました。熱心な練習の甲斐あって、めきめき上達し、第二ヴァイオリンのトップを弾くまでになりました。留学した時も愛器を抱えて行きました。地元の市民オーケストラに誘われて演奏会に加わったりもしました

卒業間際にAさんがしてくれた話です。—学生生活最後の演奏会で、メイン・プログラムの交響曲もいよいよ最終楽章のクライマックスにさしかかった時、楽譜の頁をめくると、いつ入れたのか後輩が紙片を挟みこんでいて、「いつもやさしく指導してくれました。先輩、ありがとう」と書いてあっ

た。これが目に飛び込んで来たたとたん、旋律のうねりと学生生活の締めくりにこみあげてくるものが抑えきれなくなり、スコアがにじんで見えなくなりヴァイオリンが涙で濡れて困りました、と。—勉強と音楽と感動に満ちたすばらしい学生生活を終え、Aさんは4月から世界規模で展開している会社に勤務しています。

十数年前に卒業したB君が卒業後の進路について相談に来たのは2年の時だったのでしょうか。出身地の市役所勤務を希望していましたが、公務員試験は難関です。いろいろ悩んでいるようでした。ただ、話を聞いていてわからないことがある。何をやりたくて市役所に務めるのか。問いつめるつもりはないけれど聞かざるをえなかった。「郷土のために、住民のために何かをしたいというのではないのですか。つまり、あまり忙しくはなさそうで、エラクなれなくてもいいから、安定した職場をとということですか。もしそうだとすれば、そういう人は市役所では要らないのではないだろうか。」憮然として彼は帰って行きましたが、数日後またやって来て言いました。「先日、あのようになられたが、そういう先生も、あまりきびしくなさそうで、エラクなれなくても、安定した職業だと思ってこういう職業を選んだのではないですか。」鋭い逆襲にたじろぎ(実はそれほど楽な仕事ではないのですが)苦笑をこらえながら思いました。—これはいい、この人は手応えがある。

これが転機となった訳でもないでしょう。しかし、この後B君は本気で勉強を始め所期の目標を達成しまし

た。今はある市役所で、人一倍忙しく、市民のために懸命に仕事をし、大分エラクなっていました。

数年前、立派な身なりの貫禄十分な中年紳士が尋ねてきました。それが30年近く前に卒業していったC君であることがしばらく分かりませんでした。彼は、ある大手企業に就職し、張り切って仕事をしているはずでした。ところが、そろそろ課長になろうかという頃に関連会社への出向を命じられたのだそうです。出世競争で一步横道にそれてしまったのですから辛かった。しかし彼はくさらなかった。黙々と仕事をした。やがて出向した先の会社の業績が伸び、それが評価されて彼は重役になった。それと同じ頃、まさかと思った本社のほうが潰れた。しみじみと彼は言いました。「あの時すんなり本社で課長になっていれば、今頃「リストラ」だったでしょうね。人生は不思議です。」

自信に満ちた静かな話し振りに深い感銘をうけました。

さて、皆さんはどのように学生時代を過ごし、どのような人生を歩むのでしょうか。まず、計画を建ててください。興味、関心、不安があればどの教員でも遠慮なく研究室を訪問してください。

今年の教育学部

教育学部



教育学部長
昆 正博

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教育学部の現状と皆さんが大学生活で心にとめておいてほしいことをいくつか述べてみます。

「教育学部」と「教育学研究科」では、専門的な知識・技能を習得して、社会や学校等さまざまな場で、学習者を支援することのできる専門家の養成を目指しています。「教育学部」では、①児童生徒の学習と健康を支援する学校教員の養成と②児童生徒の学校外での学習及び成人の学習・文化・スポーツ活動を支援する教育専門職員の養成を行っています。

カリキュラムには、学生自身の人間形成のための科目、「教育プロフェッショナル」として身につけるべき知識・技能を習得するための科目、人間をより理解するための科目と、これらを生きた知識・技能とするための1年次から4年次までの多様な実習が配置されています。さらに、教員免許取得のために、平成22年度入学生から導入される新しい科目「教職実践演習」に対応できるような科目「総合演習」が実施されています。このための教科書作成には、学生が主役として関わりました。また、附属学校園の副校長も教育学部実践教授としてこの授業で学生を指導しています。

さらなる教育の高度専門職を目指すのが「教育学研究科(修士課程)」です。「学校教育専攻」、「教科教育専攻」および「養護教育専攻」があります。

これらの教育・研究を、附属学校園と附属センターが支えています。皆さんは、このような環境の中で、自分の専門を学ぶとともに、他の専門の

興味ある科目も学ぶことができます。また、努力次第では複数の免許取得も可能です。

次に教育学部の今年度の主な話題です。

① 教員採用は東北、北海道地域は厳しい状態が続いています。しかしながら、頑張って現役で合格する学生が多くなっていることは頼もしい限りです。

大都市圏の教員採用では、弘前大学に大きな期待を寄せています。教育学部は、就職支援委員会を中心に学生諸君の就職活動をバックアップしています。希望を持って1年次から各種の情報収集に努めるとともに計画的に勉強してください。

② 教育学部の第1期校舎改修が終わりました。講義室を中心とした改修が行われ、教室が新しくなりました。また、学生が自由に利用できるスペースも確保されています。有効に活用してください。さらに、今年は第2期の工事があります。一時期不便になるかもしれませんが、我慢してください。

③ 地域の教育力向上を目指した「ラポバスプロジェクト」が本格的に動き出しています。さまざまな教科で、地域の学校や教育関係機関と連携した事業が進められています。学生諸君も参加する機会があるかもしれません。

④ 大学内での活動だけではなく、学外においても自主的に様々な取り組みに参加している学生が多いのが教育学部の特徴です。青森県教育委員会が実施している高校生とのふれあ

いの企画、理科実験の支援などにも多くの学生が参加しています。とくに、最近社会的な問題となっている子どもの「ネットケータイ問題」に対する弘前大学の学生によるパトロール等の活動は各方面から高い評価を受け、全県的な活動に発展しています。

教育学部の学生の活動には、各方面から大きな期待が寄せられています。しかしながら、他人の迷惑も考えないような自転車の放置、とくに人命にもかかわるような緊急車両の通行を妨害するような体育館前の駐輪等、見過ごすことのできないような事態もあります。もちろん教育学部の学生とは限りません。また、校舎内外で教育研究に支障をきたすような大きな声を出すようなことも気をつけなければなりません。大学は、小学校等と違い、講義と講義の間にも授業、セミナー、研究、会議等が行われています。大学生になったことを自覚してください。

最後に皆さんが、日常生活の基本的なマナーやルールをよく理解し、遊びはほどほどにして、一生懸命に勉強し、人間の成長を支援する良き専門家となることを期待しています。

医
学
部



医学部長
佐藤 敬

楽しい大学生活の秘訣 — 新入生の皆さんへ

大学での新しい生活が始まって一か月余りが過ぎましたが、中には大学生としての生活に自然と入って行けず戸惑いを覚えている人も居るかもしれません。特に、大学での学習は、自ら学ぶ姿勢がなければ、ほとんど何もせず終わってしまう危険性さえあります。何か一つでも、自分で興味を持って勉強するための課題を早く見付けて欲しいと願っています。

そうだとしたら、学問をするために、大学の講義はどのような役割を果たしているのでしょうか。知識を身につけるのは、教科書やさまざまなメディアなど、広義の教材を利用することで十分可能ではないかという考え方もあり得ます。しかし、私は、大学における教育には少なくとも二つの意味があると考えます。

第一に、自ら学ぶためには、その道標を得ることが必要です。広く高度な学問の中で、何を、如何にして学ぶべきなのかを知ることは重要です。もち

ろん、先人の考え方、方法論、問題意識などをそのまま踏襲する必要はありませんが、それらを全く知らずに学問を始めることは、大きなエネルギーのロスを伴う危険性があります。これまでに確立された事実から出発することは、学問をさらに発展させるために欠くことのできない過程です。残念ながら、現代社会に生きるわれわれが、自らの力でなんらかの学問領域をゼロから切り開いていくことは、ほとんど不可能に思えます。

第二に、学問は知識を得るにとどまっては学問とは言えません。われわれは知識を得ながら、その意味について理解していかなければなりません。当然のことながら、ただ頭の中に知識を蓄えただけでは、その価値は個人的なものにとどまってしまう。さまざまな事実の積み重ねから、その意味付けを考え、確固たるものにしていく努力が本当の学問ではないでしょうか？そして、やがては、一つの理論となって現実の中で実証されていくのだと思います。その辺りのことは、教科書やインターネットの情報には必ずしも書いてありません。先人の話は、単なる知識の源としてだけでなく、む

しろ、さまざまな考え方や関連した事実を知ることの方に価値があるとさえ思います。

繰り返しますが、皆さんには、自分が興味を持てる課題を一つでも見付け出して、自ら知識を深めていく努力を早く始めて欲しいと願っています。現実の報酬無しに努力することは、私たちにとって容易なことではないかもしれませんが、自らの知識を広め、その意味を理解すること自体に楽しみを見出して欲しいと願っています。

学問だけでなく、大学生活には無条件に楽しいこともたくさんあります。無条件に楽しいことは身の回りにたくさんあり、その多くは大きな努力を払うことなく手に入ります。あるいは、手に入れる努力が容易にできるというべきかもしれませんが、加えて、学問が楽しくなると、大学生活そのものに困難はありません。勉学することをも楽しみながら、これからの大学生活を大いに楽しんで欲しいと思います。

Science, in short, signifies a realization of logical implications of any knowledge.
(John Dewey)

充実した大学生活を



医学部保健学科長
對馬 均

医学部保健学科

新入生の皆さん入学おめでとうございます。厳しい受験勉強を経て獲得した“大学生”であればこそ、“初心忘るべからず”といわれるように、皆さんには、入学にあたって掲げた目標に向かって、これからの学生生活を充実させていきたいと思えます。

さて、皆さんが思い描いた目標とはどんなものでしょうか？ 高度化・専門分化した現代医療においては、医師のイコール・パートナーとしての医療専門職の役割が重要視され、それぞれの分野で専門的な知識・技術が深められています。医学部保健学科の新入生の多くは、こうした医療専門職を目指して入学されたことと思えます。このように、はっきりとした目的意識を持って入学してくる学生が多いことが保健学科の特徴と言ってもよいでしょう。

保健学科には5つの専攻がありますが、いずれの専攻の授業科目も、各医療専門職の国家試験受験に向け、教育内容と到達レベルが国から指定されており、1年前期から専門基礎科目や導入科目が開始される楔形のカリキュラムが編成されています。したがって、保健学科の授業時間割は他学部に比べてかなり忙しいと言えるかも知れ

ませんが、そうした忙しさの中から時間の上手な使い方を学ぶことも必要ではないかと思えます。保健学科の新入生も、保健学科での大学生活の流れに大分慣れてきたことでしょう。目標として掲げた医療専門職を目指して勉学に励むことはもちろんですが、部活動など、総合大学ならではの課外活動を通して他学部の学生と交流し、さまざまな価値観に触れ、人間としての厚みをつけて欲しいと思えます。

一般に、卓越した専門知識や能力を備えている人をスペシャリストと呼びます。スペシャリストが果たす役割が重要であることは言うまでもありません。しかし、スペシャリストは狭い範囲の知識や技術を深く追求するがゆえに、ややもするといわゆる“専門バカ”に陥りがちです。そうしたことにならないよう、専門以外の幅広い分野にわたる知識と視野をもつことを強くお勧めいたします。現代社会において求められる人材とは、一つ分野での専門的能力や知識をマスターし、しかも幅広い分野にわたる知識と視野をもっている人材、すなわちスペシャリストとジェネラリスト両面を兼ね備えている人材であるとされています。こうした

人たちは、そうした両面を「T」の文字になぞらえて「T型人間」と称されています。地域医療や高齢者ケアの現場で求められているのは、まさにこうした資質に他なりません。

保健学科の新入生にとって、文京キャンパスと本町キャンパス間の移動は不便なことだとは思いますが、利便さを追求することだけが文化ではありません。これを逆手にとってプラスに変えるという発想も欲しいところです。困難に直面したときにこそ人間の真価が問われることとなりますが、そのとき頼りになるのはそれまで培われた知識と経験に他なりません。自信を持つことも必要ですが、自信は努力の積み重ねから得られるものだと思います。こうした点を念頭に置いて、青春時代に与えられた4年間という時間を有効に使い、充実した大学生活を送られるよう願っています。



理工学部長
稲村 隆夫

新入生に贈る言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。弘前大学は青森県内では唯一の中規模総合大学で、同じキャンパス内でいろいろな分野の人たちが勉学に励んでいます。教師を目指している人、医師を目指している人、医療従事者を目指している人、証券マンを目指している人、研究者を目指している人、一流のエンジニアを目指している人、様々な人たちと知り合いになっていろいろな考え方を知り、相手の考えを尊重できる人になって下さい。また、理工学部では留学生も一緒に学んでいますので、留学生とも友人になって視野を広げ、また日本の良いところをたくさん紹介してください。今マスコミ等で、最近の若者の視野や人付き合いの範囲が狭くなっているとの指摘があります。同僚とはあまり付き合いわず、自宅で一人で過ごす人が多くなっているとか、社会の出来事にあまり興味を示さず自分の趣味に閉じてもっているとか、日本人の留学生の数が年々少なくなっているとか言われています。これから社会が益々グローバル化される中で、若者個々が狭い視野に閉じてもっているのは日本の将来は悲観せざるを得ません。様々な分野の人たちとつきあい、様々な考え方を知って下さい。例え、その人たちが自分の考えと違う考えを持っていても、です。その人たちこそ、自分の視野を広げてくれる人かもしれません。そのような人付

き合いの中から、自分の考えをあらためて見つめ直すこともこれから益々必要です。

さて、皆さんは30年後、50年後の自分をどのように思い描いているでしょうか。まだ日々の生活に手一杯で、そんな先のことまで考えられないと思っている人が多いかもしれません。学生生活が落ち着いてきたら、少し先のことを考えてみてください。自分が将来どのような職業を得たいのか、どのような人になりたいのか。そのためには、大学でどのようなことを学ばなければならないのか、どのような能力や考え方を身に付けなければならないのか、自ずと明らかになると思います。ただし、そのことだけに固執して、その他のことは何もしないというのも良くありません。一つのことには没頭することは良いのですが、せっかくいろいろな分野の人と交流する機会があるのですから、いろいろなことを吸収して、いろいろな見方を学ぶのも重要なことです。

私が学生の頃大変お世話になった著書に、武者利光著「ゆらぎの世界」（講談社ブルーバックス、1980年発行）というのがあります。武者先生はその著書の中で、次のように述べています。「われわれの生活にも「あそび」がなくてはならない。（途中略）「あそび」は「ゆらぎ」の一種である。研究をするにも「あそび」が大事で、あそびということは、持続している緊張から解き放されて、自由な発想で現在やっていることを見直す余裕がえられる。（途中略）「ゆらぎ」と「あそび」は人類の進歩や創造性にとって不可欠なものであ

る。」遊んでばかりでも困ることになりますが、あそびのない生活は大変窮屈なものになってしまいます。この「あそび」、自然界では「ゆらぎ」ということになりますが、に関して、皆さんは、「 $1/f$ ゆらぎ」という言葉をご存じでしょうか。周波数解析すると、そのパワー・スペクトルが周波数に逆比例するゆらぎで、自然界に多く存在します。説明が少し難しくなりましたが、そのようなゆらぎが人間に大変心地良いといわれています。赤ちゃんがお腹の中で聞いていたお母さんの心音がこの「 $1/f$ ゆらぎ」であるためともいわれています。このようなゆらぎは、例えば扇風機の風の強さを制御するのに応用されています。閑話休題。

このように、目標を一つ据えてそれに向かって一生懸命頑張るにしても、多少寄り道をしてあっちへ行ったり、こっちへ行ったりしながらいろいろなことを吸収し、最終的にその目標に収束する過程が理想的なのではないでしょうか。

皆さんには、有望な未来が待っています。ただし、それを得るには多くの努力も必要です。努力をせずして得たものには大きな価値はありません。最後に、上杉鷹山の言葉を贈ります。「なせば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」

‘詠み人知らず’の 歌に学ぶ



農学生命科学部長
鈴木裕之

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

大学時代というのは、自分自身の人生を振り返ってみても、将来を決定づけるほどの貴重な時期であったと思います。運動部でひたむきに精進していた仲間、文化系サークルでイベント成功に熱中していた仲間、勉強している姿はあまり見かけなかったけれど、いつも成績が良かった仲間、の姿が思い返されます。新入生の皆さんは、今、そういう場所に居ります。大学生活を通して、完全燃焼できる何かを見つけ下さい。

現代社会は様々な課題を抱えながら営まれておりますので、これからは困難に直面しても、ひるまず変化に挑戦しうる人材が期待されます。現在、我々を取り巻く社会では、解決しなければならない問題が山積しています。そうした課題には、高校で扱ってきた問いのように、たった一つの正解があるわけではありません。皆さんは、周りに希望を与えられるような、より良い答えを導き出す力を大学生活の様々な活動の中で鍛えていかなければなりません。

私の愛読雑誌に禅の高僧「松原泰道」氏の大学時代の話が載っていましたので、ここに紹介します。松原氏が大学を卒業したのは昭和6年、ちょうど昭和恐慌の最中で、銀行がばたばたと閉鎖した大変な混乱期でした。以下、原文の内容を忠実に紹介します。

松原氏と仲間たちは何とか卒業できましたが、誰一人として就職が決まらない社会情勢でした。あまりの痛まし

さに耐えかねて、何か心機一転しようじゃないかということになり、じゃあ旅行に出かけようということになりました。目的地は、箱根関所跡です。お金はないわけですから、「無銭旅行」でした。

乗り物は一切使わず、東京から歩き詰めに歩いて、夕方になるとお寺か農家に泊めてもらう。薪割、掃除や風呂焚きなどの手伝いをして、翌日にはお握りを作ってもらい、野宿もしながらやっと目的地に辿り着きました。今と違い、誰一人観光に来ている人はありません。

季節は桜の頃だったそうで、風が吹いてばらばらと桜の花びらが散って、外套にかかる。すっかりセンチメンタルになり、「そろそろ帰ろうか」「ああ、帰ろう」となった時、仲間の1人が松原さんの背中を見て、「おい松原、おまえ何にもたれていたんだ。苔が付いているぞ」と言うので、背中を払いながら、「この碑だ」と。見ると苔むした石碑で、それは万葉仮名で書かれた和歌が刻まれた歌碑でした。そこは文学部の学生たちです。その万葉仮名を指でなぞりながら読み当てたのが、次の一首でした。

あれを見よ 深山(みやま)の桜咲きにけり
真心尽くせ 人知らずとも

その時、松原氏たちは本当に感動し、こう誓い合ったそうです。

『ああ、いい歌を教わったな。これからどんな苦境があっても、自分たちは人を騙したり、苦しめたり、要領の

いい生き方はやめよう。山の奥深くに咲いた桜のように、誰が見てくれようとかねなかりと、ただただ真心を尽くしていこうじゃないか。』

この時の誓いがこの年まで私を支えてくれました。この和歌が、私の‘杖言葉’でした。

〔出典：『致知』（致知出版社）2009年4月号より〕

同じ桜でも、弘前公園のような人目につく場所で咲き誇る美しさもあれば、目立たない山奥で慎ましく咲きながら人々に感動を与える桜もある。「人が見ていようが見ていまいが、自分が納得できる生き方を貫くことこそ重要である」とこの歌は教えてくれていると思います。新入生の皆さんの入学にあたり、友との誓いを誘った桜にまつわる話を紹介致しました。若い時分でありながらも、禅の高僧「松原泰道」氏を『おい、松原』と呼び捨てに出来る友情が生涯に亘って続いたことも羨ましい限りです。皆さんも弘前大学で、すばらしい友情を育まれることを祈念して、歓迎の挨拶とさせていただきます。



Ⅱ 特集 新入生・在校生の声

『自立!!』

人間文化課程 1年
長内 結希

私は弘前の学生寮に引っ越してくるまで弘前大学に行ったことがなかったのですが、入学前にはじめて弘前大学を訪れたとき、「早く入学して授業を受けてみたい」と思いました。高校とは校舎も学校の制度も大きく

違い、私には未知の世界であった大学の一員になれることがすごくうれしかったです。実際に入学式を終えてから授業開始までの間に、多くのガイダンスやウエルカムパーティーなどを受けてみて、大学は生徒が中心になって動いているという印象を受けました。そしてもちろん自分も授業の編成や寮生活など、自分でやらなければならないことがかなり増えて、弘前大学に入学してからの約1カ月半で今までの自分よりも内面的に成長できたところもあるなあと

思いました。でも大学には成人している先輩方もたくさんいて、先輩方を見ていると自分はまだまだ欠けていると感じることも多々あります。でも、弘前大学に通うために授業料や生活費を支えてくれる親のことを考えたり、将来に向けて努力している先輩を見て、自分もこの弘前大学での4年間で、まだ具体的ではないけれど自分の将来の夢のために大きく進歩したいと強く思いました。

大学生生活を一カ月経験してみて



現代社会課程 1年
渡邊 一樹

弘前大学に入学して一か月以上経ち、ようやく大学生としての生活に慣れてきました。一か月前はいろいろ

不安を抱えていましたが、入学式前のウエルカムパーティーに参加したのがきっかけとなって多くの友人ができ、わからない事はお互いに相談し合いながら取り組むことができたので、思っていたよりスムーズな大学生生活のスタートを切ることができたと思います。

また、サークルでは、私たち1年生を気にかけてくれて誕生日を祝ってくれるような、気軽に話ができる優しい先輩たちに恵まれ、楽しく活動できているので、これからの活動が楽しみです。

しかし勉強面では授業はまだ始まったばかりで、高校までとは全く

違う授業のやり方で少し戸惑っています。高校のようにきっちり板書をとる授業のほうが少ない、口頭による説明が多いので、期末試験に多少の不安を感じています。一回一回の授業を自主的に振り返ることが大事だと思うので、空いた時間を見つけて復習に取り組みたいと思います。

とりあえず、これからの4年間は自分の心がけ次第で最高のものにも最低のものにもなると思います。この4年を学習面でも、生活面でも、最高の4年間を過ごしたと誇れるようなものにするために精一杯頑張っ自分成長させていきたいと思

不安と決意



経済経営課程 1年
畑山 滉

弘前大学に入学し、1ヶ月が経ちました。初めは何もかも不安で「友人はできるのか?」「1人できちんと

やっていけるか?」「授業についていけるのか?」などと、あれこれ考えていました。ですが、いざ大学生活が始まるとすぐにサークルや講義を通じて友人ができました。また、1人暮らしにも慣れ、新しいことに挑戦しようとサークルにも入りました。その分、多忙ではありますがとても充実した日々を過ごしています。

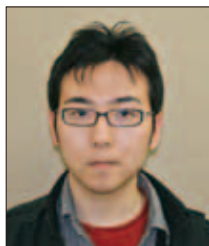
大学では高校と違い、予め決められている時間割にそって勉強するのではなく、自ら履修する講義を選択しなければなりません。また、1コマが90分なので、集中力を保つのがとても大変です。ですが、自分の好きなことを、高校とは違った形で

学ぶことができるのでとても楽しく感じています。入学までは様々な不安がありましたが、それも今となっては良い大学生生活のスタートを切れたと感じています。

まだ大学生生活は始まったばかりですが、「やるべきことはきちんとやる」「遊ぶときは思い切り遊ぶ」などメリハリをきちんとつけ、学生ではありますが社会人の1人だということも忘れずにいたいと思います。

4年間はあっという間だと聞きます。人との出会いや経験から様々なことを貪欲に吸収して、器が大きく柔軟性のある人になるために頑張っ

＜思い返せば・・・＞



人間文化課程 3年
野中 裕貴

新入生のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。そろそろ大学生活にも慣れ、充実した毎日をお過ごしのこと

ことと思います。

私が、この弘前大学に入学してからというもの、はや2年という歳月が経つわけですが、自分の中ではイマイチ2年経ったという実感が湧きません。思い返せば、2年前のあの日、学生協で下宿にするか一人暮らしをするかで、母親と大喧嘩し、担当してくださった方のおおいに焼かせてしまったことがつい先日のことのように鮮明に思い返されます。それからというものこの2年間、本当に様々なことがありました。勉強、サークル、アルバイト等、数を挙げたらきりが無い程、新しいこと

が次から次へと怒濤のごとく押し寄

せてきて対処に困った場面が多々あります。そんな、右も左も分からなかった私が、ここでこうして3年目の大学生活を送っているわけですから、人間やればどうにかできるものです。今となっては、周囲の人達も生活のことに関しては口うるさく言わなくなりました。

みなさんも、これから訪れるであろう様々な新しいことに挑戦し、新しい自分を発見して欲しいと思います。そして、思う存分、大学生活を謳歌してください。

在校生から

「大切にできる力」

現代社会課程 3年
渡辺 まどか

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

入学からの2ヶ月、みなさんは、きっととても多くの「新しいこと」を経験したのではないのでしょうか？一人暮らしや、サークル活動など、大学生ならではの生活を楽しんでいる

ことと思います。

みなさんのこれからの大学生活、今までよりももっとたくさんの「新しいこと」が待ち受けています。それは時にはとても嬉しいことであり、時にはとても辛いことであることもあります。

私も、今までの2年間、たくさんの嬉しいこと、楽しいことがあり、もちろん辛いこともありました。そんなときに、相談に乗ってくれて、一緒に笑って、一緒に泣いてくれるのは、今私の周りにいてくれる友人であり、先輩であり、家族であり、先生であり、仲間でした。大学に

入って出会った人たちや、離れて暮らす家族が、私の一番の支えです。

私は、「大切にできる」ということは「力」だと思っています。今までの2年間で出会った人たち、そしてこれからの出会いを大切にしていける力をこれからもずっとずっと強くしていきたいと思っています。

みなさんのこれからの大学生活に素晴らしい出会いがあることを祈っています。そして、ぜひ「大切にできる力」で楽しい大学生活を送ってくださいね。

在校生から

「終わりなき旅」



経済経営課程 3年
平良 美佳

1年生の皆さん、入学おめでとうございます。もう弘前での大学生活には慣れましたか？私は今年3年に

なりましたが、入学したと思ったら、あっという間に2年が過ぎてしまいました。卒業式に悔いを残さないよう、自戒を込めて次のアドバイスをしたいと思います。

それは、好奇心を持って何事にも挑戦するということです。私は映画が好きなのですが、1年間に50本見ることに挑戦しています。映画館に行くだけだと達成できないので、ソタヤを含めてですが。皆さんも些細なことでも、国家試験に挑戦して合格するなどの大きなことでも良いので、何かに挑戦する大学生活を送ってください。

私は、人生は終わりのない旅のよ

うだと思います。

大学生活はその旅の途中のオアシスです。

辛いように思えても、泉にはいっぱい水があり、友人たちもたくさん作る機会です。このオアシスの中で十分に英気を養い、また次の社会への旅立ちに備えなければなりません。

勉強はもちろんのこと、サークル、アルバイト、遊びなども自分の世界を広げる良い機会です。たまには手を抜いても良いので、大学生活で弘前にいたという何らかの痕跡を残してください。それが出来れば、もっと大きなはずの自分を探す旅の一つの扉を開けたことになるでしょう。

在校生から

大学に入学して



学校教育教員養成課程
小学校教育専攻 1年
馬場 拓也

弘前大学に入学し、弘前大学の新たな一員となれたことは私にとってとてもうれしいことでした。これから、この弘前大学でいろんな経験をしたいと思います。介護実習や教育実習などはじめてすること、挑戦することが多くあると思います。また、一人暮らしの生活にも大変なことが多くあり、投げ出すことがあるかもしれませんが、そんな時にでも、友人や家族などいろいろな人にアドバイスをもらいながらいつも笑ってこの大学生活を送っていけたらいいな

と思います。
私は、この弘前大学で過ごす期間(できれば4年間)で何かに入賞したり、表彰を受けたり、そういう特別なことは頭の悪く、ゆっくりが好きで私にはできそうにないので、普通のことを普通に、当たり前のことを当たり前前にできるようになってこの弘前大学を卒業し、私が将来なりたい「先生」になれるよう大学生活を一生懸命悩んで、一生懸命たのしんで生活していきたいと思っています。

頼るということ



学校教育教員養成課程
中学校教育専攻 1年
麻生 茉希

私が弘前大学に入学し、早くも一ヶ月が過ぎました。講義形式の授業にも慣れ、日々教師になるための

道を一步一步手探りながらも私なりに歩んでいます。入学当初は本当に分からないことばかりで、正直毎日が不安でいっぱいでした。「時間割を組むとはどういうこと?」「レポートってどうやって書くの?」「サークルって何?」等々挙げ出したらきりがありません。高校とは全く違う仕組みである大学では、私も親も首を傾げることしかできず、誰に尋ねればいいのかも分からない状況でした。そんな時に私を支えてくれたのは、友達と先輩です。私が不安に感じることは当然同期である友達も同じで、お互いに分からないことは相談し合い、時には先輩に尋ねること

もありました。人に頼り、頼られるということを繰り返すうちに、次第に不安は解消され、気持ちに余裕ができていきました。やはり、頼れる人がいるならば、とことん頼った方が良いと一ヶ月過ぎてみて感じました。勿論ただ頼るだけでは何も得ることはできませんが、初めのうちは周囲の力を借り、徐々に自分自身の力で問題を解決していけるように、教わった知識と経験を真摯に受け止めていきたいです。そして有意義な大学生活を送り、目標に少しでも近づけるよう努めたいと思います。

充実した四年間のために



養護教諭養成課程 1年
佐藤 安香里

弘前大学に入学して約一ヶ月が経ちました。入学前は大学とはどんな場所か、勉強についていけるか、友人はできるかなど、たくさんの不安を抱いていました。しかし、優しい先生や先輩方、新しくできた友人達のおかげでそんな不安はすべて消え、毎日充実した大学生活を送っています。

私はこの四年間で何より人として大きく成長したいと思っています。養護教諭になるという目標ももちろん強く持っていますが、子どもと向

き合っていく職業であるからこそ、まずは自分自身を理解し、高めていきたいです。そのためにも、様々な機会を自分にとっての好機だと思い、積極的に挑戦していきたいと思っています。

養護教諭養成課程は皆が養護教諭になることを目指して入ってきます。自分と同じ目標を持つ仲間が近くにいることは、よい刺激にもなるし、励みにもなります。すてきな仲間に出会えたことに感謝して、四年間頑張っていこうと思います。

大学生になって



生涯教育課程
健康生活専攻 1年
工藤 健斗

弘前大学の新たな一員となって、僕は今、大きな野心を抱いています。その野心をここで打ち明かす気ははなからありませんが、そんな気

持ちを抱くくらい心に余裕ができたということです。入学当初の僕は苦勞の連続で、かなりいっぱいっばいでした。

まず大変だったのは膨大な種類の講義の中から、将来の進路や単位数に合わせて、時間割りを全て自分で作らなければならないということです。教員免許をとるのに必要な授業や、どれくらいの単位数に設定するべきなのかなど、わからないことだらけでしたので、とにかく自分で調べて、人に聞きまわりました。優しく教えてくれた先輩や友達にはとても感謝しています。

そして、僕は陸上競技部に所属しているのですが、こちらも初めのう

ちは慣れない環境と厳しい練習でだいぶへばっていました。しかし、なまっていた体も練習を積むにつれ徐々に戻ってきているので、これからどんどん自分を追い込んでインカレや国体に出場できるよう、本気で頑張ろうと思います。

余談ですが、実は先日インフルエンザにかかってしまい、1週間ほどダウンしていました。かなり終息したはずのインフルになぜ感染したのかはわかりませんが、今感染しても大学の授業は公欠にならないので、みなさん手洗い・うがいをお勧めします。

毎日を繋げて



生涯教育課程
芸術文化専攻 1年
笹山 佳世

弘前大学に入学して早くも1カ月

が経ちました。入学して間もなくは大学の体制と独り暮らしに戸惑ったり、友人が出来るか不安であり、毎日が大変でした。1か月経った今も大変な日々を過ごしていますが、興味のある分野についての講義を受けたり、友人や先輩が出来たりと、充実した大学生活を送っています。

さて、私の専攻している芸術文化はその名の通り芸術について専門的に学びます。この専攻では美術、音楽、言語といった様々な分野をより専門的に学ぶことができます。

私は美術をより専門的に学びたい

と考えています。そして、将来は美術の教師として教育の場に立ちたいと考えています。以前の私は自分を表現することが苦手でした。しかしあることがきっかけで私は変わりました。その時私は自分の考えを外に出して伝えることに喜びと楽しさを感じました。私は子供達にも自分を表現することに対して何かを感じてほしいと思います。そのためにも今を大切に過ごし、自分の能力を高め、教師になるという夢を実現させたいと思います。

今の私

生涯教育課程
地域生活専攻 1年
近藤 智恵実

弘前大学に入学してすぐに1ヶ月がたちました。

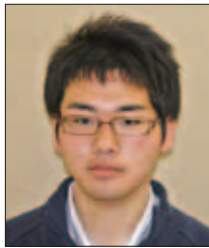
入学する以前の私は、「面倒くさ

い」「ダルい」と言って、自分の苦勞することは避けてきました。しかし大学に入学して、私は今までの自分に区切りをつけて、新たな自分になると思っています。

これからは、辛いこと、苦しいこと、様々な試練があります。そんな時すぐに逃げ出さず、しっかり立ち向かっていけるような自分になれるよう努力していきたいです。

そのためには、精神的に強くなるだけでなく、こんな私を支えてくれるような信頼できる友達を作り、人間関係を確立していけるようにしたいです。そしてこの大学4年間が充実した有意義な4年間になるように、身体的にも精神的にも強くなり、弘前大学の学生としての自覚をもって過ごしていきたいです。

新たな目標に向けて



医学科1年
大山 哲司

高校時代の苦しい受験勉強を終え、念願だった地元の弘前大学に進

学できた喜びを入学して数ヶ月経った今でも強く感じています。入学して以来、勉強や入部した医学部サッカー部における活動など、今までとは異なるスタイルで行われていることに戸惑うこともありましたが、早く大学生活に慣れていければと思っています。

さて、私は医学部医学科に進学したため、この弘前大学で最低でも六年間という長い期間を過ごすことになります。この六年間で学ぶことは非常に多く、医学的な知識だけでなく医師以前に社会人として必要なことを吸収していけると思っています。

す。また、私の周りには先生だけでなく、先輩方や同級生の方がたくさんいます。彼らの中には県外出身者も多く、様々な価値観を持っています。そういった方々から良い刺激を受けたいです。

最後に、今年一年は専門科目が少ない年になります。私はこの一年は様々なことにチャレンジできる期間だと認識しています。また、専門科目を学ぶ上でいろいろなことに触れておくことが重要だと思います。今できること、今しかできないことをしっかりと考えて様々なことに取り組んでみたいですね。

弘大生としての誇り



医学科 1年
大和田 啓暉

弘前大学の入学式からはや一ヶ月、日本一の弘前公園の桜も散り、新たな生活に慣れてきた今日この頃。私はふと、高校生だった時の自分を思い出す。

ほんの数ヶ月前まで大学に入ることが目下最大の目標だった私は、弘前大学の一員になるということがうまくイメージできなかった。弘前大学でどんな仲間と出会い、どのような日々を送るのか。大学生という存在が自分からかけ離れたものと思えなかった。サークル、専門的な講義、飲み会や代筆などといった大学生特有の文化もたくさん想像された。そんな期待と不安にあふれていた世界を、私は今過ごしている。

思えば弘前大学に入って間もない頃も、私は大学生になったという実感が湧いていなかった。そんな時にある先生がおっしゃった「君たちの背中には、弘前大学医学部医学科の文字が彫られている」という言葉が

印象に残っている。この言葉によって、私は自分が弘大生になったということ強烈に自覚させられた。一生消えないその文字は、自分からは見えなくても周りの人からは見え、そしてよし悪しに関わらず私たちの行動は弘大生のものとして見られるのだ。

弘前大学での生活は、良い友人や先輩にめぐまれた充実したものとなっている。たまには羽目をはずすこともあるだろう。そのような日常の中で、私は背中に彫られた文字を意識することが重要だと思う。弘前大学の学生として誇りを持って学生生活を満喫したい。

新入生のみなさんへ

医学科 2年
一瀬 浩司

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そろそろ部活も決まり、学校生活にも慣れてきたのではないのでしょうか。フジテレビの映らない弘前に困惑している人も少なくないでしょう。私自身、笑っているものが5時からやっているのを初めて見た時は驚きを隠せませんでした。

た。そんな弘前ですが、こんなに四季を体験できる場所にはないでしょう。お花見はしましたか？日本の桜は伊達ではありませんね。夏は涼しくてすごしやすいですよ。と思いきや、年に2、3回訳が分からないくらい暑い日もあります。冬になると南方からやってきた人は体験したことのない雪に襲われます。慣れないうちは滑らないように注意して歩きましょう。大学生活では今しかできないような体験をたくさんしてください。いろいろなところに旅行するもよし、新しいスポーツなど

在校生から

にチャレンジしてみるのもよいでしょう。私の場合は今までほとんど経験のなかった水泳を始めました。何かを一から始めることは単調な生活に刺激を与えてくれますよ。新しい出会いは大切にしましょう。いい友人、先輩との出会いは人生の宝物になりますよ。ただ突然先輩が家に押しかけてくることがあるので注意しましょう。私自身今この原稿を書きながら暇で暇でしようがない先輩達の相手をしてあげています。では、大学生活楽しみましょう！

新入生のみなさんへ

医学科 2年
太田 香純

新入生のみなさんご入学おめでとございます。高校の時とはまったく違った新しい生活が始まり、初めて一人暮らしをする人や他県からおいでになった方もたくさんいるかと思えます。私も大学に入学したころは生活に慣れるのが精一杯でした。

でも、大学はとても楽しいところだなと1年間を振り返ってみて思えます。大学では多くの人に会えます。部活やサークルではもちろんですが、全学部一緒に21世紀授業や、医学科では宿泊セミナーや、県人会や青森県内のそれぞれの高校会などで縦のつながりや多くの人との交流がとても広がりました。また、1年の時は21世紀授業がほとんどですが、専門の授業もあり、自分がこの学科の道に進んでいるのだなということを実感できました。医学科では

在校生から

学年があがるにつれて専門の授業が多くなりますが、1年のうちは専門以外のことにもたくさん目を向ける時間がある大切な時期だと思えます。やってみたいことに挑戦したり、好きなことを極めてみたり、旅行をしたり、充実した1年にしてほしいと思います。たくさんのことを実践するのは難しいけれど、今できることを思いっきり楽しんで素敵な大学生活にしてください！

「充実した大学生活を！」

医学科 2年
柿崎 沙野

ご入学おめでとうございます。突然ですが、もう既に先輩方から「1年生のうちは暇だ」と聞いている人も多いかと思えます。何か一つでもいいので暇な時間を活用できるように、打ち込めることを見つけてください。部活やサークルに没頭するの

も良いし、観光地を巡ったり穴場のお店を探したりするのも、家事を極めるのも良いと思います。時間があるのは今だけかも知れませんが、少しでも興味のあることに取り組んでみてはどうでしょうか。

また、これは私が出来なかったことですが、知識や考えの幅を広げること必要だと思います。例えばテレビのニュースを毎日見てみるだけでも、だんだん興味が湧いてきます。一面だけでも新聞を読んでみるとか、本を読んでみるとか、これも自

在校生から

分が興味を持ったものから始められるものだと思います。最後に、自分を大切にしてください。大学に入学することを一番喜んでくれたのも、今まで一番応援してくれたのも、みなさんのご両親だと思います。やりたいことを精一杯楽しみ、たくさんの知識をつけ、何よりも心身ともに健康であることがご両親を安心させることになります。元気に楽しく、充実した大学生活を送ってください。

可能性への挑戦



看護学専攻 1年
欠端 礼

私は将来、保健師として活躍していきたいです。その夢を実現させる

ために弘前大学に入学しました。しかし、弘前での生活を始めてから約1ヵ月経ちましたが、一人暮らしや大学の授業など想像していた以上に大変だと感じているのが現状です。

そんな悩んでいるときに、アドバイスを頂いたり、解決の糸口を見出したりしてくれるのは、弘前で出会った同じ学科の友人、部活動の先輩や同輩、そして先生方です。

おかげさまで、自信をなくし不安であった大学生活を少しずつ充実させていくことができます。まだまだ慣れないこと、知らないことはたくさんありますが、“あきらめな

いで頑張る”という気持ちで挑戦していきたいと思っています。

また、授業の空き時間を利用して趣味の幅を広げたり、弘前の街を散策したりして弘前をもっと知りたいと思います。そして、授業や部活動あるいはボランティア活動を通してこれから出会う人やチャンス大切にしながら、たくさんの方を学び、経験し、立派な保健師になるために着実に自分を成長させていきたいです。

皆さまよろしく願いいたします!!

「弘前という地で」



放射線技術科学専攻 1年
山口 朋子

弘前大学フィルハーモニー管弦楽団による美しい演奏と、学長のあり

がたい言葉、部活動やサークルの激しい勧誘。時の流れは早いもので、入学式からもう一ヶ月が経ちました。

大学の授業や日常生活には大分慣れてきましたが、静岡出身の私は、弘前の気候にはまだ慣れていません。「桜は4月下旬に咲く」「え、3月下旬じゃないんですか」「GW頃が見頃だ」こんな感じの会話を市内在住の友人や大学の先生と交わしました。やったね、今年は2回も満開の桜を見るじゃん!とか思ったその後、「冬眠するなよ」とよく忠告されます。しないよ。東北地方の人は考え方が全く違うようです。そうか、

こたつでぬくぬくは向こうだけなのか……。

最初は全く聞き取れず、「日本語なのか?」と疑った津軽弁も分かるようになってきました。「ごみを投げる」「はぁ!?!どこに!?!」と、傍から聞いたら下手な漫才のような会話を繰り広げていた4月の自分が恥ずかしい。

弘前という地に来て、方言、気候、新たな考え方など、様々な事を学びました。しかし、まだ知らないことばかりです。不安は尽きませんが、友人達と励ましあいながら充実した4年間を過ごしていきたいと思っています。

弘大生としての誇り



作業療法学専攻 1年
高杉 早紀

憧れていた大学生活も、もう1ヵ月が経ちました。もう、と言いましたがこの1ヵ月はたぶん私にとって

人生でもっとも濃い時間だった気がします。

まず初めての土地で始まった新生活。私の場合は、寮に入ったので、1人でさびしかったり、困ったりということはなかったものの、次々と押し寄せてくるちょっと変わった行事達。いろいろ衝撃を受けましたが、「あ、明日入学式なんだ」と思うほど充実した春休みを過ごし(笑)、サークル勧誘の凄まじさにびっくりした入学式を終え、やってきたクラスメイト達との出会い。今年の作業療法学専攻もなかなかの個性の持ち主が揃っています。そしてみんなカラオケ大好き!!なテンション高めなク

ラスです。この専攻は1学年20人ということもあって、学年を超えた交流もあり、先輩たちとも仲良くなっています。このみんなとなら、4年間頑張っていけそうだなあと感じています。

大学生活の4年間はもちろん勉強するため、将来の夢のために進学したわけですから、努力していかなければなりません。今しかできないこともたくさんあるはず。なので、私は卒業する時に大学に思い残すことがないよう、毎日楽しく一生懸命に過ごしていきたいです。

「これからの大学生活について」



検査技術科学専攻 3年
掛端 麻華

弘前大学に編入学してから、早くも1カ月が過ぎました。この1カ月は時間割を決めたり、サークルを決

めたりととても慌ただしく忙しい毎日でしたが、ようやく落ち着くことが出来ました。

私は人見知りが激しいため、編入したての頃は、友達ができるかどうかとても不安でした。しかしクラスメイトや、同じサークルの人、他の専攻の編入生、先輩方など多くの方々が親しくしてくださって、毎日楽しく充実した日々を過ごすことができ、大変感謝しております。そしてこれからもっと多くの人と仲良く出来ればいいなと思っています。

これからの大学生活では、今まで学んできたことを踏まえつつ、講義

や実習を通してもっと多くの知識を身につけていきたいと考えています。私が特に力を入れたいのは細胞診断学の講義と演習です。私は臨床検査技師の仕事の中で病理分野が1番好きなのですが、以前いた専門学校では、細胞診について詳しく学ぶことは出来ませんでした。弘前大学では、細胞診断学の講義・演習があり、それを教えてくださる先生方が居ます。この恵まれた環境を生かして、もっと知識を身につけ、将来的には細胞検査士の資格を取り臨床の現場で活躍できるよう頑張りたいです。

新入生へ向けて



検査技術科学専攻 4年
佐藤 拓弥

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。大学生活には慣れてき

た頃かとは思いますが、無理をして体をこわさないように気をつけてください。

大学の4年間というのは長いようで短いです。私も気がつくと4年生になっていました。限られた時間をどのように使うかは自由ですが、何事にも積極的に挑戦してみてください。サークルやアルバイトに熱中したり、いろいろなところを旅行して自分の視野を広めてみるのも良いかもしれません。学生時代だからできることや学生時代にしかできないことがたくさんありますので、どんどん挑戦してってください。

もちろん遊びだけでなく、勉強も

在校生から

大切です。先生や先輩たちに分からないことは聞きに行ったり、友達同士協力し合って試験等を乗り越えてください。単位は取れるうちに取っておくと後が楽ですよ。いろいろと書いてきましたが、これは私が今まで大学生活を送ってきた中で感じたことです。新入生の皆さんは自分なりの大学生活を送ってください。そして4年後には最高の大学生活だったと思えることを願っています。

「新入生の皆さんへ」



理学療法学専攻 2年
高杉 愛子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学は高校とは異なり、自分自身

が主体となって自由に物事が実行できます。取りたい講義を取れば良い、やりたい勉強をすれば良い、サークル、バイト、時々勉強！？是非、色々な経験をして、4年間という限られた学生生活をあなた自身のものにして頂きたいと思います。

本専攻の特徴は、少人数制です。そのため、各学年や専攻全体がとても仲良く団結しています。これから順次開催する専攻全体でのスポーツ大会、ポーリング大会などの年間行事等を通して、新入生の皆さんも先生や先輩方と関わり、交友を深めていくことができると思います。是非、皆で専攻全体を盛り上げていきま

しょう。

在校生から

最後になります。皆さんは将来の自分の職業を「理学療法士」に絞ってこの専攻を受験したことと思います。つまり、卒業後は病院のリハ室で即戦力として勤務することとなります。そのため、学生のうちに将来のために備える、という姿勢で学ぶことが大事だと考えます。また、自分の興味のある分野について今から知識を蓄え、4年後の就職の際に自分に誇れるものを1年生の今から構築してはいかがでしょうか。

大学に入学して



数理科学科 1年
今井 智仁

弘前大学に入学して約一か月が経ちました。僕は地元出身だったので、

大学生活への不安はあまりなく、大学生とはどのようなものだろうと、とても期待していました。今では、高校からの仲間だけではなく、他県などの人とも仲良くでき、とても充実した大学生活を送れています。

僕が所属している数理科学科では主に数学を学んでいます。僕は、数学があまり得意ではありませんが、数学を勉強している時は、とても楽しく過ごすことができます。将来、数学を活用できる仕事に就くことを目標にし、1日1日全力で取り組んでいきたいと思っています。

僕は高校まで野球部に所属してい

たため、勉強よりも部活を優先していました。しかし、大学に入って、部活には入らなかったことで、自分の時間とることができるようになりました。この空き時間を無駄にすることなく、今よりもさらに充実した大学生活を送りたいと思います。

これから4年間いろいろなことがあるかと思いますが、大学生活は、まだ始まったばかりなので、勉強やサークルなど、自分が納得できるまで、とことん楽しんでやっていきたいと思っています。

大学院に入学して



物理科学コース
博士前期課程 1年
岩間 裕文

今春、東京の明星(めいせい)大学・理工学部・物理学科を卒業し、

本学・大学院理工学研究科・物理科学コースに入学しました。

太陽系外惑星に興味があり進学を考えていたところ、私の学部時代の恩師と面識のある先生が弘大におられることが判明し、何か縁を感じました。これが弘大院受験の決め手となりました。

卒業論文は三鷹の国立天文台に通い、天文台の指導教官のもと「ひので光学磁場望遠鏡による黒点周囲の波動の解析」ということで、太陽の研究をかじらせていただきました。学部の卒論と院での研究テーマは変わらないのが普通だと思いますが、

私の場合はもう一人の恩師の「今は手を動かし、汗をかいて、データ解析をしてみなさい。理論は大学院に行ってからやりなさい。」という趣旨のご助言に従い、卒論は天文台でデータ解析、理論は院でやることにしました。

入学して約ひと月、弘大は院生が多く、いろいろな分野のお話が聞けて大変うれしいです。明星大学や国立天文台で培った技術、知識を少しでも研究に活かせたらと思っています。

大学院に入学して



物質創成化学コース
博士前期課程 1年
佐々木 高広

大学院生になってから一月が経ちました。私が所属する研究室にも新たに4年生が配属され、みんな実験に真剣に取り組んでいます。

私は今でこそ大学院生ですが、去年の今頃は研究がどういものかも分からず、大学院に進学するかどうか悩んでいました。しかし、研究を進め、指導教官と相談を重ねる内に大学院に進んだ方が得られるものが多いと考え、大学院に進学することに決めました。

大学院に入ることによって、4年

生の時に行っていた研究を引き続き行うことが出来たり、学会での発表を数多く経験したりすることができるなど、自分にとってプラスになることがいっぱいあります。これらの経験を通して、自分の能力を向上し、自分を見つめなおした上で社会に出ていければいいなと思っています。

まだ大学院生になったばかりですが、卒業する時に大学院に進学して良かったと思えるように研究や大学生活を頑張っていきたいと思えます。

大学院へ進学して



電子情報工学コース
博士前期課程 1年
三井 勇人

私は弘前大学理工学部電子情報工学科を卒業し、今年度から弘前大学

大学院理工学研究科へ入学しました。弘前へ来て5年目ということもあり、慣れ親しんだ環境で、順調に新たな研究生活を始めることができました。

私が大学院へ進学した理由は、研究室へ配属されてから先生や先輩方と接する機会が増え、自分の知識やコミュニケーション能力など、力の無さを実感し、より深い知識と能力を身につけたいと考えたからです。現在、私が所属する研究室は先生が3人、院生が7人、4年生が13人いて、自分と異なる分野の研究や様々な意見等を聞くことができ、自

分の成長のために恵まれた環境であること実感しています。

今後の抱負は、研究に力を入れることはいうまでもなく、研究に必要な知識や技術を学びながら、研究課題を突き詰めていきたいです。さらに、ゼミや学会発表を通してプレゼンテーション能力等のスキルを身につけたいと考えています。また現在、留学生のチューターとティーチングアシスタントをしているので、これらの経験を後に生かせるようにしたいです。以上を念頭に置き、充実した大学院生活を過ごしたいと思っています。

研究室生活を通じて学んだこと



知能機械工学コース
博士前期課程 1年
佐々木 愛

医用システムを開発する研究室に配属された学部4年生の1年はあっという間に過ぎ、今度は大学院生と

しての研究室生活が始まりました。これから2年間、自分を学生ではなく社会人だと思って、気持ちを引きしめて生活していこうと思っています。私が1年間研究してきた中で、新しいことに挑戦するとき大事だと思うことは、常に自分自身で考えること。どんなことにも思考を働かせて、論理を突き詰めて決定・決断することがとても重要だと感じています。また考え・決断したことを行動に移すことも非常に大事です。机に座って考えているだけでは見えないことが、実際に試すことで分かることが多く、新たな発見の糸口になることも

よくあります。ただし、どんなに考え・行動しても1人では分からないことはたくさんあります。その時には、自分よりも知識や経験が豊富な弘前大学の先生方や先輩方はとても頼りになる存在です。私も、自分で考えそして先生、先輩から新しい知識を吸収しながら、さらに精進していきたいと思っています。弘前大学は、様々なことが学べる素敵な場所です。ですから、新入生の皆さんには、その機会を無駄にすることなく何事にも積極的に取り組んでほしいと思います。きっと、その先には素晴らしい学生生活が待っていると

弘前大学に入学して



生物学科 1年
松永 翔一郎

つい3ヶ月前のことです。私の机に置かれた大学について色々書い

てある例の赤い本を見た友達から、「松永ーお前『こうぜん大学』ってどこに行くのか?」と言われ、私は、「ちゃうし!!」と言。さらに友達には、「じゃあ『ひろまえ大学』?」、私、「もうそれでよくな?」(泣)。というような会話がいったい何回行われたでしょうか。私の出身はここからはるか遠く離れた九州の長崎県、日本の西の端っこです。実は私は前期試験でこの大学のこの学科を受けて落ちました。前期の合格発表後「後期受けても無理だろうなあ」と思ってしまいましたが友達から「生物なら誰にも負けないから大丈夫!」とか

なんとか励まされどうにか後期で合格し、そのときに友達の存在の大きさを改めて感じました。

私の地元の長崎にはツシマヤマネコという絶滅に瀕した生物がいます。このツシマヤマネコの保護活動に親の仕事の関係で係わる機会がありました。この経験から動物の生態に対して興味を持ち大学でも動物生態学を学ぼうと思いました。そして白神の自然の中で生態学を学べるこの大学はとて素晴らしい場所だと思います。この北の大自然の中で4年間?を有意義に過ごしていきたいと思います。

弘前大学に入学して



分子生命科学科 1年
初瀬尾 真人

私が弘前大学に入学してから1ヶ月がたちました。毎日毎日が忙しいながら充実した日々を送っています。自分は大学を卒業してから「あれをやっておけばよかった」と、後悔

したくないので、いろいろなサークルに入ったり、学科の代表などになったりしました。サークルの新歓など、とても楽しいのですが時間が足りないことが今の悩みです。ほかに自動車学校にも行きたいし、バイトも始めたい。これからまだまだ忙しくなるかもしれないけれど「良い大学生活だったなあ」と後々思えるようにしたいので、少し無理してもがんばりたいと思います。

さて自分は入学する前は不安がたくさんありました。「英語すらできないのに多言語の授業なんて大丈夫なのか」「友達はできるのか」「初めての街で一人暮しすること」などいろいろな悩んでいました。でもこの一ヶ月で悩みのほとんどは薄れてき

ました。そういえば弘前市内の行ったことの無いたくさんの所を巡ると、その街の一員になれたような気になれるので暇な時間があればやってみてください。おすすめですよ。

今では毎日一緒にいるような友達もできました。一人ではわからないことも、みんなで考えると解決することができます。そしてなによりもみんなが個性的で一緒にいて楽しいです。

自分はまだまだ4年間あるので、これからなんだってすることが出来ます。その4年間の毎日を大切に、様々なことに挑戦し、努力して周りの人から良い意味で理解されるような人間になれるようにしていきたいです。

『弘大に入学して』



生物資源学科 1年
杉山 奏澄

入学して1ヶ月以上が過ぎ、講義の長さや講義室の場所などなどに少

しずつ慣れてきましたが、入学してみると考えていたキャンパスライフとは少々違うことがありました。

そのうち1番違うのは大学生には自由な時間がたくさんあると聞いていたのにほとんどないことです。大学の講義と自転車校の教習三昧の毎日であっという間に1週間過ぎてしまいます。しかし教養科目の講義は希望通りのが履修できたのでとても有意義な時間を過ごせています。

この1ヶ月、私がごく当たり前に使う言葉をはじめで聞いたと言われてたりして若干カルチャーショックを受けたりしましたが、いろんな県か

ら来た人たちと話すのはとても楽しいです。この間はまさか大学でいけるとは思っていなかった遠足に行くことができ、本当に毎日充実しています。

これからの学生生活では、やってみたいと思ったことに積極的に挑戦して、視野を広く持てるように自分を変えていきたいです。今サークルに入っていないので、そのうちサークルにも入ってより充実した日々を送りたいと思います。今しか出来ないことを沢山経験して人生の糧にしたいです。

弘前大学の新しい一員になったことについて



園芸学科 1年
千葉 拓也

私が弘前大学を選んだ最大の理由は、農学を学んでみたいからでし

た。ただ、その一方で地元の大学への進学も視野にいれていたため、親や友達と離れた新しい環境での生活となる弘前大学での学校生活は、決して希望だけに満ちたものではありませんでした。しかし、学校生活が始まると、校舎の建物もきれいで学校の雰囲気は良く、また、生協では新入生に対する企画に力を入れていてその中の一つである新入生ウェルカムパーティーでは今後も付き合っていけるであろう友達もすぐにできました。サークルでは、読書が趣味

なので文芸部に入り、同じ趣味の仲間と話をするのも楽しくなりました。講義では、自分の学部で教員の研究内容をきくことによって、自分の入った学部に対してさらに興味をわいてきて、大学での学習に対しても希望が持てるようになりました。

このようなことがあり、私はだんだんと弘前大学が好きになっていきました。だから、私はこれからは弘前大学の新たな一員として、勉強やサークル活動といった大学での生活について積極的に取り組んでいきたいと思っています。

< 新一年生の皆さんへ >



分子生命科学科 2年
竹川 大登

皆さんの大学生活も2カ月ほど経ちますが、大学生としての生活を楽しんでますか？

大学ではこれまでと比べて自由な時間が圧倒的におおくなります。この自由な時間をどう使うかは皆さん次第ですが、ある程度の計画を立てることが大切になると思います。僕の経験からいうと、特にテスト前の一夜漬けなどは良い結果には繋がらないので、計画的に少しずつ勉強に励んでほしいと思います。また、大学の先生はよい先生ばかりなので質問に行ったり、研究室のことを聞いてみたりすることにもぜひ時間をつかってみてください。もちろん勉強だけでなく、友達と過ごすことも大切にしてください。僕は空いている時間に友達とソフト

ボールや学食に行き過ぎて一日がすぐ終わってしまうのが少し悩みですが……。皆さんは実感が無いと思いますが、大学での1年も気が付いたら終わっているほどにあとという間です。ポーっとしていればさらに1年と過ぎて僕もみなさんもいつの間にか卒業してしまうかもしれませんので、弘前大学での4年間がとても良い時間だったと心から思えるように大切に過ごしましょう。

在校生から

弘前を知ってみよう



生物資源学科 3年
橋本 陽

最初におなじみの言葉を載せなければなりません。「大学は時間があるので時間の使い方に……」新入

生の皆さんは有り余る時間の使い方をどうお過ごしでしょうか？ まだまだ弘前大学の雰囲気には慣れていないでしょうね。実際、人がその環境に身を移し、慣れるまでには相当の時間を要するといいます。今回、私が皆さんに伝えたいことは①時間の使い方②環境になれることの2点です。

初めの話に戻しましょう。時間があると言われるかもしれませんが、使い方には誰も触れません。そこで私から提案しましょう！ “名産品を食べ歩こう”。まず、地元の食べ物になれたら環境にも適応しやすくなると思います。たとえば弘前にはリンゴ。和菓子。

ひろだいカレー……たくさんの名物があります。これらを食べずに卒業してしまうのはもったいないといっても過言ではありません(笑)。せっかくであれば本場の味を確かめに青森県内を散策するのもよいと思います。そうすることで弘前がどういう町であるかがより実感できると思います。また、その時に興味がわくことに会おうでしょう。それが人生のターニングポイントです。自分の知らなかった一面を見つけるには未知の体験をいっぱいしてみましょ。そこで意外な君の個性に遭えるかもしれません。

在校生から



Ⅲ 弘前大学漫学のススメ

週刊サンデー／小学館 3月10日発売

本学では、弘大の魅力を全国にPRするために3月に発売された以下の漫画雑誌6誌に広告を掲載しましたので紹介いたします。

人文学部

羽渕先生登場!

人文学部・羽渕一代准教授／プロフィール
新しい刺激が加わることによって、社会はどのように変容するのか?人の意識や行動を見つめ続ける研究者なのだ。



ゴチャーン

先生、少年犯罪は、どんどん増え続けているのかかな?

少年による「理由なき犯罪」が目立ちますが、犯罪件数自体は減り続けています。

メディアでは少年犯罪が増えたと言われますが、犯罪件数は1983年をピークに年々減り続けています。80年代の前半は「校内暴力」が吹き荒れた時期でもありました。また最も少年犯罪が多かったのは戦後の苦しい時期でした。ただ犯罪件数は確実に減っているのですが、理由や動機はわからない凶悪事件が目立ってしまっています。これは海外でも注目される日本の少年犯罪の特徴なんです。そして、その確たる理由を誰も示してくれないから不安になる。インターネットやケータイを犯罪の原因、

にする風潮があるけれども、私は、それは間違いだと思っています。海外でも若者がケータイを使う国はたくさんありますが、それらの国で「理由なき犯罪」が多発しているかというところではない。しかも、日本では若者の犯罪件数は減っているのに、海外の先進国では増えている。そういう意味でも、社会的に見ると、日本というのは非常に不思議な国、私自身「理由なき犯罪」の理由に、これだ!という回答を出すことはできませんが、これからも日本の社会変容を社会的見地から観察していこうと思います。



先生、

ありがとうございます。おかげで少年犯罪の謎が解けたよ!

面白い発想にマジメに取り組む大学です。

弘前大学の新たな試み、公開中!ぜひご覧ください



弘前大学
Hiroaki University

国立大学法人弘前大学
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 電話:0172-36-2111(代表)
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

田上先生 登場!

教育学部・田上恭子准教授 / プロフィール
なぜ、人間は昔のことを突然思い出すのか？
そんな人間の「記憶」を探究し続ける研究者。
奥が深い研究なのだ!



先生、若者はなぜ
ロックミュージックに
夢中になるのでしょうか？

青年期は
自分を作る時期。その時期に流行っていた
音楽は、人生に大きな影響を与えます。

音楽、映画、小説など、青年期(10代後半〜20代半ば)に受けた刺激は、その人の好みを形成する上で大きな影響を与えられています。ですので、若い時にロックにハマった人は、年齢を重ねた後もロックが好きという傾向があります。青年期は、自分らしさを形成する時期。その時期に流行っていた音楽は、その人を支える「幹」となっていくのですね。

「自分」という過程の中で、たくさんの自分の中から自分の本当の好きなものを見つけ、「自分」というものを確立していきます。これは個人差があり、一生、自分というものを確立できない人もいます。確立できない場合は、自分がなりたいもので、周りの意見に振り回されたり、対人関係に悩み、殻に引きこもってしまうという事態に陥ることもあります。自己を確立するためには、いろいろなことに挑戦してみることが大切。たくさんの方に触れることで、自分らしさを見つけるチャンスが増えるかもしれません。



面白い発想に
マジメに取り組む
大学です。

弘前大学の
新たな試み、公開中！
ぜひご覧ください



弘前大学
Hirotsaki University

国立大学法人弘前大学
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 電話:0172-36-2111(代表)
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

週刊少年マガジン／講談社 3月31日発売

医学研究科

蔵田先生 登場!

医学部医学科・蔵田潔教授／プロフィール
アメリカの医学雑誌「ジャーナル・オブ・
ニューロフィジオロジー」の編集委員。
これを務めているのは日本ではたった
5人しかいない!



弘前大学 漫学

ゴキヤーン

普段の暮らしの中では、脳の神経回路のパーツがゆるやかに結びついている。しかし、危機的状況、極限の状況に置かれた時に強い結びつきに変わります。わかりやすい言葉で言うなら、これが集中。受験の時には問題を読み解くことに集中、スポーツでは運動能力を著しく高めるために集中。私たちの脳の中には、それぞれの場面で一番能力を発揮できるように、神経回路をつなぎ変えるメカニズムが備わっているのです。適切なタイミングで、適切な神経パーツにアドレナリンやドパミンが適切に出るといことが、神経回路に「集中」、

人間の脳には、すごい力が備わっている。誰でも超人になれる可能性を持っています。

先生、危機的状況で、超人的な活躍。それができる人は、特別な能力の持ち主ですか？

を促すためのカギになります。また、脳には、興奮と抑制という2つの側面があります。このバランスを取ることが重要。スポーツ選手を例に取ると、テンションを上げると同時に、冷静さを失わない人がいる。物事にのめりこむだけでなく、自分を客観的に見ることが出来る。そういう人が、極限の状況に強い人。と言えらると思います。しかも、脳には高い学習能力があります。例えば、追いつめられた状況を想定したイメージトレーニングを繰り返すことで、極限の状況に強い人。に近づくことはできると思います。



弘前大学の
新たな試み、公開中！
ぜひご覧ください



面白い発想に
マジメに取り組む
大学です。

先生、
先生の話集中してたら、
電車に
乗り遅れて
しまっ
ましたー

弘前大学
Hirosaki University

国立大学法人弘前大学
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 電話:0172-36-2111(代表)
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

Cheese! / 小学館 3月24日発売

保健学研究科

木田先生 登場!

医学部保健学科・木田和幸教授 / プロフィール
日常生活上の環境要因(食事、運動、飲酒、喫煙
など)が、健康へ及ぼす影響について研究。
*生活*のことなら、この先生に聞くのが一番!



ゴキヤーン

先生、恋をしてドキドキ、
走ってもドキドキ。どっちが
エネルギー消費しますか?

残念ながら、胸のときめきでは、
エネルギー消費はありません。

恋をしている人には非常に残念で
すが、「胸のときめき」ではエネル
ギー消費はありません。ただ、恋の
場合はエネルギー消費ではなく、
食欲を抑える効果があると言われ
ています。「出る(=エネルギー消
費)」ではなく、「入る(=エネル
ギー摂取)」に影響を与えるのです。
とはいえ、恋をしたら、瘦せたい。
結果、きれいになりたい。そういう
女性の心情はよくわかります。効
率的にエネルギー消費をしたいの
であれば、第一に心掛けて欲しい
のは運動。それもあまり負担にな
らないウォーキングがおすすめです。
ただ歩くだけでも、平静状態に
比べ、ほぼ3倍の身体活動に相当、

します。こういうことの積み重ねが
非常に大切。最近では、生活の中で動い
ていること全てを「身体活動」と呼ん
で、その中でエネルギー消費を高め
ていこうという考え方になってきて
います。ハードな運動ではなく、暮ら
しの中の動きで体重コントロールを
していこうということです。
最近では食事に関するダイエット法
がいろいろ出回っていますが、身体
に無理を強いるようなやり方ではな
く、運動から始めるほうが安全だ
と思います。
恋も、体重コントロールも、
焦らず、着実に一歩一歩
進んでいくことが大事なのではな
いでしょうか。



先生、
ウォーキングの
効果が出る前に
フラれてしま
いました!!(哀)

面白い発想に
マジメに取り組む
大学です。

弘前大学の
新たな試み、公開中！
ぜひご覧ください



弘前大学
Hirosaki University

国立大学法人弘前大学
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 電話:0172-36-2111(代表)
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

週刊少年ジャンプ/集英社 3月8日発売

理工学研究科

澤田先生 登場!

理工学部物質創成化学科・澤田英夫教授
/プロフィール
新しいフッ素の機能が活かされたフッ素系
高分子機能性材料の開発。この研究は例が
少なく、世界中から注目を集める存在なのだ!



弘前大学 漫学の チャンピオン

先生、 無敵のゴム を作ることは可能 でしょうか?

高温でも大丈夫、 油も寄せ付けない。ゴムの弱点を克服する ための研究が弘前大学で進んでいます。

ゴムはクルマを始めとする様々な製品
に使われています。そして活用の幅は、
今後ますます増えていくことが予想さ
れます。しかし、私たちが普段使ってい
るゴムには高温や油に弱いという弱点
があります。それを改善するために生
まれたのがフッ素ゴムです。しかし、耐
熱性、潤油性は改善されているものの、
フッ素ゴムは低温下では固くなってし
まい、ゴム本来の弾力性が損なわれて
しまうのです。つまり、従来のゴムは熱
や油には弱いものの低温でも弾力性が
損なわれない。一方、フッ素ゴムは熱に
強く、油を弾くものの低温だと弾力性
が損なわれてしまう。それぞれのゴム、

の弱点を解決するものとして、私が開発し
たのは、フッ素とシリカ(ガラスの成分)を
ハイブリットさせたもの。これを従来のゴ
ムの表面に薄くコーティングすることで、
両方のいいところ取りを実現したので、弾
力性を保持したままで、熱にも強く、油を
はじく。しかもこのコーティング膜は剥が
れることなく半永久的に性能が保持され
るばかりか、フッ素高分子(有機)とシリカ
(無機)をハイブリットさせることで、フッ
素ゴムよりも耐熱性が高まり、270℃
以上の高温でも長持ちします。
今までの弱点を克服した
「無敵のゴム」は、様々な場面
で利用されていくと思います。それから…



先生、 もうスベースが なくなっ てしま いました!!

面白い発想に マジメに取り組む 大学です。

弘前大学の
新たな試み、公開中!
ぜひご覧ください



 **弘前大学**
Hirosaki University

国立大学法人弘前大学
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 電話:0172-36-2111(代表)
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

デザート／講談社 3月24日発売

前多先生 登場!

農学生命科学部・前多準人助教／プロフィール
 弱冠30歳の若き研究者。食べ物で生まれる疾患を、食べ物で解決する。栄養化学の視点で、“健康”を作り出しているのだ!



弘前大学
 漫学の
 裏

ゴキヤーン

先生、牛乳を飲むと、
 イライラしなくなっ
 て、嘘をつくこともな
 くなりますか?

カルシウムを
 探ることで、精神が安定する。よく言われ
 ますが、科学的証明はされていないのです。

牛乳を飲むと、つまりカルシウムを
 探ると、イライラしなくなる。そんな
 ことがよく言われますが、これは、
 は、ほとんど迷信と言っていると思
 います。
 カルシウムというのは、血液中での
 濃度が常に一定になっていて、足り
 ない場合には骨を溶かし出して血液
 の中のカルシウムを一定に保つ機能
 が、私達の身体の中に備わっている
 のです。しかも、牛乳を飲むことで、
 精神が安定するというのも科学的
 にはまだ証明されていないので、精
 神安定剤を吐かなくなるというこ
 ともおそらくありません。

食品が身体に与える影響や効果を証明
 していくことも、私の研究の一端。例え
 ば、青魚を食べると頭が良くなると言
 われますが、これも科学的にははつき
 りと証明されていません。しかし、最近
 の研究で青魚の中に含まれるDHAや
 EPAは、血中の中性脂肪を下げるこ
 う効果があることが科学的に証明さ
 れました。EPAは薬にも使われるよ
 うになり、大きな効果を上げています。
 食品を研究することにより、食べるこ
 とで、病気を治したり、予防
 できる環境を作る。その道
 筋を作ることも、栄養化学を
 研究する者の使命だと思っています。



先生、
 モテるようになる
 食べ物を見つけたら、
 僕だけに教えて
 ください!!

面白い発想に
 マジメに取り組む
 大学です。

弘前大学の
 新たな試み、公開中!
 ぜひご覧ください



弘前大学
 Hirosaki University

国立大学法人弘前大学
 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 電話:0172-36-2111(代表)
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

IV 新任教員自己紹介

教育学部



技術教育講座
准教授
荒井 一成

森は木が密集した山でも植林した山でもありません。森は動植物が生きる環境であり、大きな生き物として森・川・海に住む動植物を育てています。そんな森を直に感じられる場所でこそ、地球の一生物として地球を学べるものと考えます。

まず本学「白神自然観察園」で森を学び、森が創る環境の美しさ、動植物の逞しさを生物材料である木材を通して表現したい、そして学生や子ども達が集える「森に学ぶ木工室」づくりに邁進したいと思います。ぜひ木工室に遊びにいらしてください。

教育学部



幼児教育講座
講師
武内 裕明

4月より教育学部幼児教育講座に着任いたしました武内裕明と申します。現在は、保育者の保育観・子ども観の変遷に関する文献研究を中心としておりますが、保育者に関わる実践的な研究、音楽鑑賞運動と密接に関連して

いた米国の幼児音楽教育の発展史にも興味を持っております。社会における子どもはどのように移り変わってきたのか、を考えていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

理工学研究科



数理科学科
助教
江居 宏美

弘前の美しい冬景色に感動して、数か月が経ちました。そして今は、学生の皆さんの素朴さ、謙虚さの中にある秘めたるパワーに感動しながら教育にあたっています。四方の雄大な山々によって育まれる豊かな心、冬の寒さ

によって備わる忍耐強さ、それらは、教育にも研究にも必要不可欠なものだと思います。このような環境を備えた弘前で、思い存分に、教育、研究に励んでいきたいと思っております。皆様、宜しく願いいたします。

農学生命科学部



白神自然観察園
准教授
中村 剛之

動物分類学担当の准教授として着任しました。前職は栃木県立博物館で学芸員をしていました。専門は双翅目・長翅目を対象とした昆虫分類学です。今後は白神山地を中心に野外調査、標本の収集・研究を行います。分類学は生物の多様性を明らかにする

ことで自然に関わる様々な分野に最も基礎的な情報を提供するものです。観察園は学部から独立した施設ですから、この分野に関心のある方は専攻に関わらず、研究室を訪ねてください。

農学生命科学部



白神自然観察園
助教
山岸 洋貴

2010年2月より白神自然観察園に着任いたしました山岸洋貴です。専門は野生植物を研究対象とした生態遺伝学で、植物個体群がどのように生育地環境の影響を受け、そして維持されているのかに関心を持って研究を

しています。観察園では研究を進めながら、白神山地の自然の魅力を、多くの方々に楽しく面白く伝えていきたいと思っております。是非とも一度、観察園に足をお運びください。お待ちしております。

保健学研究科



医療生命科学領域
病態解析科学分野
教授
吉田 光明

本年、2月16日付で保健学研究科に赴任致しました。弘前大学理学部生物学科を昭和53年に卒業して以来、33年ぶりに母校に戻ってまいりました。卒業後、一貫して染色体研究に取り組んできましたが、2003年から放射線被ばく事故における生物学的

線量評価を研究業務に加え、染色体解析に専念しております。今後は、本学における被ばく医療体制の整備と人材育成に邁進していきたいと思っております。宜しく願い致します。
(5月16日付で被ばく医療教育研究施設・放射線生物学部門に配置換)

保健学研究科



医療生命科学領域
病態解析科学分野
教授
渡辺 純

4月より、保健学研究科(医療生命科学領域病態解析科学分野)に着任しました渡辺 純(わたなべじゅん)と申します。専門は病理学です。特に婦人科病理学、臨床細胞学の研究に取り組んでいます。昨年開設された細胞検査士養成課程も担当します。患者さん

のことを第一に考え、自分の実力で問題を解決できる Medical Stuff、Cell Scientist 養成に力を注ぎたいと考えます。どうぞよろしく願いいたします。



保健学研究科



医療生命科学領域
放射線生命科学分野
助教

吉野 浩教

はじめまして。この春4月より保健学研究科に着任しました吉野浩教です。専門は放射線生命科学です。弘前に来て今年で9年目になりました。これからは、弘前の歴史や古き良き伝統を学びながら、母校の更なる発展に貢献できるよう、教育・研究活動の両面

において頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

保健学研究科



医療生命科学領域
生体機能科学分野
助教

千葉 満

4月より保健学研究科に着任しました千葉満です。主に栄養・代謝学実習や臨床化学実習等を担当します。私は本学の卒業生で、学生として7年間お世話になりました。3年ぶりに弘前へ戻ってきて、「さくらまつり」や「ねぶたまつり」が非常に楽しみに感じてお

ります。弘前大学にはこれからは教員として臨床検査技師の教育や研究活動を最大限頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしく願ひ致します。

保健学研究科



医療生命科学領域
病態解析科学分野
助教

吉岡 治彦

「がん細胞とはね・・・」
学生に「がん細胞とはね、核が大きくて、色が濃くて、形が不正でね、核と細胞質の比が大きく、細胞同士が不揃いで・・・」と説明しながら心では、実際は必ずしもそうでないことも多いなあ・・・と思いながら形態学の奥深

さ・難しさを感じています。この「がん細胞」検査のスペシャリスト(細胞検査士、病理技師)を養成する保健学研究科に赴任しました。がんの早期発見、早期治療に貢献する学生を弘前から発信したいと思っております。

保健学研究科



健康支援科学領域
障害保健学分野
助手

蝦名 智子

4月から保健学研究科(健康支援科学領域・障害保健学分野)に着任いたしました。弘前大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻を修了し、函館で助産師をしておりました。次世代に「いのち」をつなぐことを大切に、考えたい、伝えたいと思っております。

す。臨床以外での勤務は初めてのため不慣れな点が多くご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

V けいじばんコーナー

平成21年度弘前大学学生表彰を授与

本学では、研究活動や課外活動で活躍した学生及び学生団体を表彰する学生表彰授与式を、2月22日(月)人文学部多目的ホールで行いました。

今回の受賞者は、課外活動等で活躍した14団体、研究活動や課外活動で活躍した学生27名の合計41組で、表彰式には各研究科長・各学部長、指導教員及びサークル顧問の教員も出席し、遠藤学長から学生1人ひとりに表彰状と記念品が贈呈されました。

遠藤学長から、「各活動での活躍は本学生の励みになる。学生時代の経験はこれからの財産となる。」と学生の功績を讃えました。

受賞者を代表して、第5回日台大学軟式野球親善国際大会の日本選抜メンバーに選出された理工学部3年の亀井岳秋さんが「今後も、大学生としての本分を全うし、

弘前大学の学生であるという誇りと自覚を持って、それぞれの活動に励んでいきたい」と謝辞を述べました。



遠藤学長(前列右から6人目)と受賞者ら

平成21年度弘前大学学生表彰採択一覧

【個人】

研究活動で特に顕著な成果を挙げた学生等

No	氏名	受賞理由
1	教育学研究科 2年 澤田 恵理	・含フッ素高分子/酸化チタン/コンポジット類の調製と応用に関する研究を積極的に、かつ自主的に展開させてきている。「含フッ素高分子/酸化チタン/コンポジットの調製とその応用」に関するポスター発表に対して、2009年度色材協会研究発表会優秀ポスター賞を受賞。
2	医学部医学科 6年 羽賀 敏博	・稀な代謝性疾患である「成人発症Ⅱ型シトルリン血症」の病態を解析し、日本病理学会学術集会にて学会報告した。加えて、その論文を作成し、学会専門誌「診断病理」に投稿した。
3	医学部医学科 6年 中野 雅之	・第98回日本病理学会総会において、「関節および腱鞘の抗酸菌感染症の3例：病理標本を用いた16SrDNAのPCRによる診断と菌種同定の試み」を発表し、多くの参加者の関心を集め、学部学生学説最優秀賞を受賞。
4	大学院医学研究科 3年 三木 康生	・筆頭著者として2009年に5編の英文原著論文を査読制のある国際学術誌に投稿し採択された。パーキンソン病において皮膚にも病変が及んでいることを生検を用いて初めて明らかにした。
5	理工学部物質創成学科 4年 前川 慎吾	・平成21年度化学系学協会東北地区大会で有機化学分野の最優秀ポスター賞を受賞。
6	理工学研究科博士前期課程 2年 佐藤 昌尚	・天文学および宇宙物理学分野における研究において、「第2の月」（太陽系以外での衛星）を検出および推定する新しい方法を見出すなど、画期的な成果を挙げ、彼を筆頭著者とする査読付き論文が日本天文学会発行の雑誌に速報（レター）として掲載。同時新聞3紙で研究成果が報道された。
7	理工学研究科博士前期課程 2年 岡田 良隆	・含フッ素高分子/イオン液体/コンポジットの調製とその応用に関する研究を積極的に、かつ自主的に展開。2009年度色材協会研究発表会優秀ポスター賞、材料技術研究協会オールドポスター賞を受賞。
8	理工学研究科博士前期課程 2年 高橋 祐香	・液晶性と抗腫瘍効果に相関があることを見つけ、その成果を日本化学会速報誌（Chem.Lett）に投稿し、掲載された（2報）。その際、審査員が液晶の新しい展開を示す成果として高い評価を受けた。
9	理工学研究科博士前期課程 1年 野地 杏奈	・新規なキラル液晶分子を合成し、フェリ誘電性相という特殊な液晶相の温度範囲拡大に成功した。その結果と第1著者としてアメリカ化学会物理化学雑誌（J.Phys.Chem.B）に投稿し、審査員の高い評価を得て掲載された。
10	理工学研究科博士前期課程 2年 日時 匠	・平成21年度日本火災学会において「シュリーレン法を用いた噴流拡散火災の可視化」という題名で研究発表を行い、火災科学の進歩発展に寄与する優秀な研究発表を認められ平成21年度日本火災学会学生奨励賞を受賞。
11	農学生命科学研究科 2年 山下 麻美子	・3種類の腺がん細胞株（肺、子宮内臓、副腎皮質由来の腫瘍）を用い、細胞遊走性との関連性を解析した。ケラチン分子の発現が高いと細胞遊走能が低いという、細胞生化学的関連性を定量的に初めて確認し、Journal of Dermatological Scienceに筆頭著者として投稿し受理された。
12	農学生命科学研究科 2年 上田 浩人	・昆虫の幼若ホルモン(JH)合成酵素にかかわるほとんどすべての遺伝子（11個）のRNA発現の局在を異なる発育時期で明らかにした。その成果を原著論文として昆虫生理学の一流国際誌に発表した。
13	大学院医学研究科（昨年度） 4年 岡本 亜希子	・「泌尿器科紀要」に掲載された約120編の症例報告の中で、特に優れた論文1編に対して与えられる非常な栄誉のある賞「福田賞」を受賞。

課外活動で特に顕著な功績があった学生等

体育系課外活動

No	氏名	受賞理由
1	教育学部 3年 遠沢 和加	・日本学生陸上競技個人選手権大会 女子やり投げ 優勝 ・東北地区総合体育大会陸上競技 女子やり投げ 2位 ・東北学生陸上競技選手権大会 女子やり投げ 優勝 ・日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子やり投げ 3位 ・東北学生陸上競技選手権大会 女子やり投げ 優勝 ・東北地区大学総合体育大会陸上競技 女子やり投げ 優勝
2	教育学部 2年 亀田 亜美	・東北学生陸上競技対抗選手権大会 女子100m、200m 優勝 ・東北学生陸上競技選手権 女子100m 優勝
3	医学部医学科 6年 多和田 有紀	・昨年度に引き続き、「弘前・白神アップルマラソン」の女子の部フルマラソンで2連覇。また、11月に開催された「横浜国際女子マラソン」でも4777名中36位の成績で青森県記録並びに東北学生記録更新。
4	理工学部 4年 外館 浩太	・第34回北海道・東北学生競技ダンス対抗戦において、ラテン・ルンバ部門優勝・第78回全東北学生競技ダンス選手権大会 バンドブレ、サンバ部門優勝
5	医学部保健学科 4年 工藤 ともみ	・第34回北海道・東北学生競技ダンス対抗戦において、ラテン・ルンバ部門優 第78回全東北学生競技ダンス選手権大会 バンドブレ、サンバ部門優勝
6	人文学部 3年 入川 望美	・第39回東北居合道大会女子三段の部優勝
7	理工学部 3年 亀井 岳秋	・第5回日台大学軟式野球親善国際大会の日本選抜メンバーに選出
8	教育学部 1年 上方 雄理	・平成21年度東北学生柔道体重別選手権大会男子 60kg級2位 ・平成21年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会東北地区予選会男子 60kg級2位 ・平成21年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会青森県予選会男子60kg級優勝 ・平成21年度東北国立大学柔道大会男子 60kg級優勝
9	医学部医学科 4年 四茂野 恵奈	・第39回北日本医科系学生バドミントン選手権大会女子ダブルス2位、女子団体準優勝 ・第52回東日本医科系学生総合体育大会バドミントン競技女子団体3位、シングルス・ダブルス3位
10	医学部医学科 4年 追切 裕江	・第39回北日本医科系学生バドミントン選手権大会女子団体準優勝 ・第52回東日本医科系学生総合体育大会バドミントン競技女子団体、女子ダブルス3位
11	医学部医学科 4年 内田 康幸	・第52回東日本医科系学生総合体育大会空手道競技男子個人組手準優勝
12	医学部医学科 6年 小林 麻美	・第52回東日本医科系学生総合体育大会空手道競技女子個人形3位
13	医学部医学科 6年 小渡 亮介	・第52回東日本医科系学生総合体育大会空手道競技男子個人形優勝、男子個人組手第3位

社会活動で特に顕著な成果を挙げた学生等

No	氏名	受賞理由
1	教育学部 4年 石塚 優士	・学生サークルteens&lawの中心メンバー（2年～3年次に部長）として、非行のある児童・少年の学習支援ボランティアに積極的に関わった。依頼先の家裁裁判所、児童自立支援施設（青森県子ども自立センター「みらい」）、及びBBS青森県連盟からその活動実績について高く評価された。

VI 編集後記

新入生の皆さん、ようこそ弘前大学へ。今号のテーマが新入生の特集ですので、「始まり」という言葉を考えてみました。新しい事を始まるのは希望と不安の共存でもあります。しかし、不安と言っても希望(夢)のためにあるも

ので、決してネガティブな意味だとは思いません。「希望と不安の共存」を少し違う角度から見ると、「胸騒ぎ」になるでしょう。入学したから2ヶ月が経ちました。新入生の皆さんはどうでしょうか？もう胸騒ぐ事はありません

か？入学する時感じた「胸騒ぎ」を、4年間の大学生活の中で、忘れずに頑張っておきたいですね。きっと、希望(夢)を実現する原動力になると思います。

(任)

弘前大学生生活協同組合 第49回通常総代会終了のご報告

5月21日(金)に第49回通常総代会が総代選出数154名のうち、115名(委任出席60名を含む)の出席で開催されました。事前アンケートや重点課題「読書」「食材廃棄」「参加」のグループ討論で、店舗や生協運営への多くの意見・要望をいただいております。総代会で提案された議案は、採択の結果、すべて可決成立いたしましたことをご報告いたします。

- 第一号議案** 2009年度事業報告及び決算関係書類承認の件
- 第二号議案** 2010年度事業計画及び事業予算案承認の件
- 第三号議案** 役員報酬決定の件
- 第四号議案** 役員改選の件
- 第五号議案** 全国共済連合会加入決定の件
- 第六号議案** 他団体への加入、脱退に関し理事会の決定事項とする範囲決定の件
- 第七号議案** 議案決議効力発生の件



重点課題グループ討論の様子

また、ホームページに以下の関連報告も掲載しておりますのでぜひご覧ください。

※ <http://www.hirosaki.u-coop.or.jp/>

1. 第49回通常総代会議事録(当日の議事報告)
2. 第1回理事会議事録、第1回監事会議事録、役員一覧(2010年度役員体制報告)
3. 総代会アンケート集計結果(学生組合員の声の報告)
4. 学部懇談会報告(教職員、院生の声の報告)

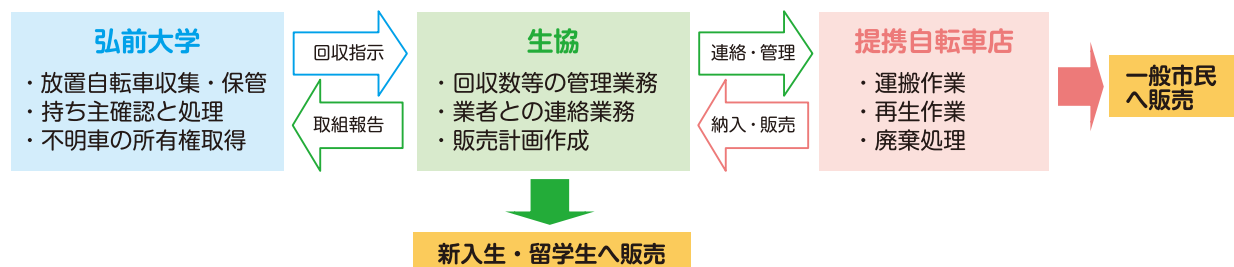
●7-8月に開催予定の、総代会事後報告会及び組合員懇談会を通じて、組合員から出された意見・要望に対する、その後の取組について報告をいたします。多数の方々参加をお待ちしております。

構内放置自転車のリサイクル活動に取り組みました

平成21年5月より、学内に放置された400台の自転車の回収を弘前大学が実施しました。生協はその活動支援として、再利用のためのリサイクル工程と、新入生や留学生への販売を担当し、平成22年4月で120台の利用をいただきました。

また、提携した自転車店でも、一般市民に販売し、再生した250台はすべて再利用できました。

【構内放置自転車 回収から再利用までのフロー】



保管中のリサイクル自転車



4/10の販売風景



記念会館



教育学部校舎



弘高生青春の像

弘前大学 学園だより Vol.167

2010年6月発行

学園だよりに関するご意見がございましたら、
下記のアドレスまでお寄せ願います。
e-mail: jm3113@cc.hirosaki-u.ac.jp
弘前大学学務部学生課



HIROSAKI
UNIVERSITY

国立大学法人 弘前大学 「学園だより」編集委員会

委員長

一戸とも子（教育・学生委員会）

委員

平野 潔（人文学部）

佐藤光輝（教育学部）

松谷秀哉（医学研究科）

中野 学（保健学研究科）

任 皓駿（理工学研究科）

藤田 隆（農学生命科学部）

佐々木宣子（学生課）

佐々木忠（学生課）

印刷：ワタナベサービス株式会社